

[参考]京都ホテルグループ沿革

1888(明治 21)年	前田又吉が京都ホテルの前身「京都常盤」を創業。
1890(明治 23)年	旧勸業場跡地の払い下げを受け、京都ホテル(当時通称常盤ホテル)を開業。 京都では最初期の本格的な洋式ホテル。
1891(明治 24)年	ロシア皇太子ニコライ(後の皇帝ニコライ2世)宿泊。 *滞在期間中に「大津事件」が起り、見舞いのためホテルへ明治天皇が行幸。
1895(明治 28)年	平安遷都 1100 年に際してホテルを改装し、正式名称を「京都ホテル」とする。
1915(大正 4)年	大正の御大礼。宿泊所として 15 カ国の大使を迎える。
1922(大正 11)年	イギリス ウェールズ皇太子の歓迎午餐会と晩餐会が開かれる。
1925(大正 14)年	ホテルで 500 名を招いた結婚披露宴が開かれる。ホテルウェディングのはしり。
1927(昭和 2)年	6 月 7 日「株式会社京都ホテル」を設立。翌年、ルネッサンス様式・鉄筋コンクリート 7 階建ての本館が竣工、営業開始。当時京都市内で最高層のビル。
1928(昭和 3)年	昭和の御大典。14 カ国の特派使節の宿舎として利用される。
1945(昭和 20)年	進駐軍宿舎として 1952(昭和 27)年まで接收される。
1961(昭和 36)年	南館を新築。以降、東京五輪や大阪万博に向けた増改築が進み、大型ホテルに。
1983(昭和 58)年	11 月 1 日「からすま京都ホテル」開業(客室数 258 室)。
1988(昭和 63)年	創業 100 周年を迎える。
1991(平成 3)年	1 月 1 日「京都ホテル」全面建て替え計画のため休業に入る。
1994(平成 6)年	7 月 10 日「京都ホテル」新装開業(客室数 322 室)。
2001(平成 13)年	株式会社ホテルオークラと業務提携契約締結。
2002(平成 14)年	「京都ホテル(おいけ本館)」のホテル名を「京都ホテルオークラ」と改称。
2018(平成 30)年	創業 130 周年を迎える。
2022(令和 4)年	1 月 20 日「京都ホテルオークラ」を「ホテルオークラ京都」と改称。
2023(令和 5)年	創業 135 周年を迎える。(11 月 1 日「からすま京都ホテル」開業 40 周年)



創業期の京都ホテル



ホテルオークラ京都